【1】日刊「除月曜」 昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 昭和26年7月17日 運輸省特別扱承認第684号

磐・城 日 日

昭和28年（1953年）7月10日 金曜日 第879号

磐城日日

発行所 磐城日日新聞社
福島縣小名浜町潜廻51
電話代表387番
編集兼発行人 長瀬壽一

7月メモ

11日…舊6月1日
20日…土用入 小名浜港祭り
25日…土用うし 植田花火大会
26日…満月

長瀬印刷KK提供

鹿島合併 協議会で近く決断

無盡藏な地上、地下資源、寶庫の鍵を握る鹿島村に平穏な夢を破つて突如合併論が持ち出されて以来四年間、湯本か小名浜かと全村有史以來の大事件として議会、區長会、部落会と擧村一致の數十回に亘る会合にも地理的に慮えが相違する十二か部落の動きも、最近愈々外部からの申入れと共に活発化して鹿島議会は近日中に最後の決断を下すことになつた模様である

條件は對等な立場 湯本町長ら積極的に動く

矢吹湯本町長は八日午後一時飯島議長はか小糸、白石、柳沼の各議員を伴つて合併申入中の鹿島村に町長就任の挨拶に來村折から合併協議会開会のため参集している志賀議長ほか各議員を園んで合併問題などの懇談会を開いて「湯本町の合併申入れの趣旨、現町政」などについて長時間に亘つて説明し湯本町の一貫した熱意を表示して歸町した懇談會はまず矢吹町長から、湯本が鹿島に合併申入れするに當つては両町村民が眞に興隆発展するために対等の立場で合併したい、合併の條件としては湯本町は確たる態度で

▼議員の二分率▼行政支所を設置することを誓うと次のように語つた

私は就任の挨拶に參上致しました

鹿島村は百姓さんや炭礦關係などでよく御世話になつているので知つていますまず現在の湯本の行政上のことを申し上げますと、教育方面では第一、第二の小、中學校に高等學校など五校がありかつては磐城を風びした時代もあり、互費を投じて方針を樹てている、合併の暁は対等な教育行政を約束する、衛生ついては診療所、隔離病舎の設備の強化、レントゲンの購入計画も進んでいる合併後には満足を與える醫療設備をする、警備は常備消防などもあり、トンネル（湯本、鹿島の境）を縣道として貫通コンクリートで立派なものとしたい、税金は小名浜の半分である、湯本の税金の七割まで炭礦で占めており町民には余り負擔をかけておらぬ、また農村の施設も町の施設と差別なくやつている

念願は農村振興 農村生れの矢吹町長

なんと云つても發展の要素は道路網の擴充である湯本、江名街道には万全の努力を拂つているもし二十九年度に完成しなかつたら私は町長を辭める決意だ

水利も心配はかけぬ、鹿島村を抹殺して合併することは重大だよく村民の納得のゆく上で希みたい、私も農村生れで農村には磐石の基礎を創ることが私の町長就任の念願だ

次に飯要議長からは小名浜は只市政施行たることが合併の目的のようだが、湯本はあくまで産業振興を期している、農村と港灣か、産業特に商工業と農村かでことが重大なる岐路である

と力説した、ほか鹿島の地下資源はなんといつても掘らねばならずその災害は私も常磐炭礦の總務部長の地位にもあり早急交渉して決して心配はかけぬ、しかし小名浜を通じて湯本に交渉すると賠償などの手續きが遅れることは明瞭だ小名浜港が商港として整備されるには十二億の費用がいるそれが大部分地元負擔になるが湯本の一億の予算は七千万まで常磐炭礦で負擔して町民の負擔は僅かであり、私も人間である以上人情からも税金を生む設備を小名浜にもつて行かれることは心外であり、鹿島が小名濱と合併したら、現在走熊ほかの斷坑の計畫も駄目になるだろう

と説明したのち荒濱議員との間に■■■小名浜間が二級國道除外されたことなど質問がかわされて閉会した

対立した協議会 議会の一本化を圖れ 部落の意見が大事だ

湯本町長らが退去した後鹿島村議会志賀議長ほか十三議員（國井、新妻議員欠席）は議会協議會を役場二階會議室で即時（午後四時）開会した

八代村長病氣により各議員は責任重大と皆一様に緊張した面で席に着き、志賀議長の口元から漏れる經過報告は鹿島村の運命を暗示させるもの」如く静まりかえつていた志賀議長の經過についての報告は■去る二十八日小名浜町から合併促進申入れがあり、また今日は湯本町長ほか議員の來訪により合併問題が急をつげて来たことを感ずるこの合併の氣運が昂つてから足かけ四年間、吾々は調査委員会も構成して研究して来ました、諸君も種々情報を得たと思われますので、この際結論を出して貰いたい

と述べたのち更に村長に病氣見舞をかねて意見を聴きに訪れましたところ「諸君（議會）がよいようにやつてくれ」と云われた

協議会はまず一部議員から結論は早く出して議会の一本化を圖り部落民の啓蒙に乗り出すべきだとする意見が強く先きに小名浜町に招かれて懇談會を行つた經過については「問題の合併促進書」と内容が同じであり、小名浜町の合併申入れの理由が最初から一貫している

小名浜と平間が二級國道から除外されたことは小名浜が市でないところに根幹をなすもので、この点からも合併の呼びかけがなされたものと思うなどの話が出た、結局議会としては三年間も足ぶみ状態で他から物笑いになるから早急に解決しなければならぬことには各議員の一致した意見のようだつたが、本論に入つてからは速かに議会を一本にすると云う事に対して部落民によく説明してから議会の結論という順序に進めぬと、一部村民と頑張る強硬派もいるから正副議員が部落に對して啓蒙運動をせよ、の意見が交され結論は部落區長を招き正副議長から説明する、その後議員と區長の合同協議會で意見の交換を行い、議會協議會で最後の判定をおろすことになり、四年間の合併問題も近日中に解決するものと思われる

北海道の暴挙て 浜田案も棚上げ 難行續くさんま会議

幾多の波亂を生じた内地北海道のサンマ解禁日の一本化を巡つての「サンマ会議」は五日から七日までの三回に亘つて衆議員第二会館ほか二会場で内地 北海道代表、水産廳側などから多數出席して開かれ水産廳第一調整課浜田技官提案になる所謂〃浜田案〃も北海道側の一方的な獨善的な議案によつて遂に流會したが内地側としては十一日開かれる中央審議会に「サンマ解禁日について」の要望書を提出して一本化をあくまでも推進することとなつたなお同会議に本縣代表として出席した一人比佐政種氏は歸縣談を次のように語つた

会議を開くこと六回、一回から三回まで何らの進展も見せなかつたが四回目に至り水産廳第一調整課浜田技官の浜田案が出された、この案は北海道、内地も二十噸未満はサンマ取締規則から除外する漁期は昨年の四十五日間を三十日に壓縮するというもので これに對して北海道が三十トン未滿まで引上げるほか解禁日を八月七日として貰いたいと、浜田案に非協力的態度に出た、吾々内地としては北海道だけが零細漁民ではない、内地の船も取締規則から除外して解禁日は九月二十日の一本とすることを申入れたところ「内地の五十トン以上の船は漁獲を禁止せよ」と云う北海道の暴擧によつて流会したが吾々はあくまでも一本化に努力するつもりだ

お知らせ

最近当町内に於て東北電力株式会社名を名乗り当社員と稱して各戸を訪問し電球を半強制的に販賣して居る者がありますから御注意願います。当社員はすべて身分證明書を携行して居りますから必らずこの提示を求めて下さい。

昭和二十八年七月十日

東北電力株式会社小名浜電業所

御需用家各位

中共引揚 上遠野の鈴木さん歸郷

中共からの引揚船白山丸白龍丸の歸國者は九日各々舞鶴を後に懐しの郷土入りをするが菊多方部関係では上遠野村上滝出身の鈴木正さん（四〇）が十日午後四時の下り列車で植田駅に到着するこの日は正さんの父淺次郎さんを初め荒川村長佐藤小学校長、婦人會、青年會、学生などが駅頭に出向いて十年振りに歸郷する鈴木さんを歓迎することになつた

品質本位 新柄の店 樋口呉服店 小名浜町 電二〇四

植田小講堂 赤瓦に衣更

植田町小学校（校長舟生伊佐美氏）の講堂は昭和十二年に創立されたが今日まで十七年の長年風雨にさらされて来たため講堂の屋根瓦は相当に老朽しておち早急なふきかへを騒がれていたがこの程予算十五万円で赤瓦に改裝異彩を放つている

同工事は三百坪で植田町小宅瓦店小宅榮太郎氏が施工した

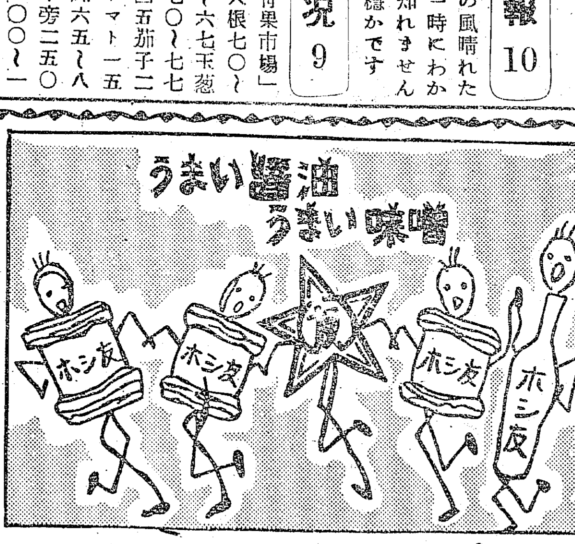
洋傘専門 高野昌平商店 小名浜町中島

天氣豫報 10

「本日」南西の風晴れたり曇つたりで一時にわか雨があるかも知れません「海上」大体穏かです

魚菜市況 9

「小名浜中央青果市場」卵二〜二、九大根七〇〜八二玉菜四五〜六七玉葱二〇〜三五葱七〇〜七七馬鈴薯二五〜四五茄子二三〇〜二七〇トマト一五〇〜二六〇南瓜六五〜八〇人蔘三〜八牛蒡二五〇筍六〇なた豆一〇〇〜一六五胡瓜三〇〜五二



ホシ友醤油株式會社 社長 星 友太郎

パインミシン・福助ミシン
芝浦ミシン・日産ミシン

外五種類・現金月賦販賣
飯塚ミシン商会
工場 植田町化台町 電二六八
営業所 植田町本町 電呼二〇七

医療法人 櫛田病院
院長 櫛田敏也
植田町番所下65ノ1（公民館隣り）
電話（植田）三〇二・三六五番
（保険醫・結核豫防醫・生活保護指定醫・労災保險指定醫）
※植田駅より徒歩にて五分
看護婦五名至急募集!!
※有資格年齢（十八才ヨリ二五才マデ）
※履歴書持参面談

本社杯中学校野球大会
參加五校で爭奪
十二日小名一中球場に開催

次代を背負つてたつ國民として應わしい心身共に健全なる育成指導に当つて来た本社では、いま武道復活の時運一新の機でもあり柔軟な時代ホープ〝野球〟をして当地方に於ける野球熱を一層盛んならしめる意圖のもとに中学生の雄々しい躍動振りを遺憾なく発揮させ、また親睦の意味に於て第三回磐城日日優勝杯争奪郡第八方部中学校野球大会を町民一般の支援を得て華々しく展開することになつた

本社は郡第八方部中体連と共催で大塚運動具店(平市)野家運動具店(小名浜町本町)後援のもとに、梅雨上りの十二日(日曜)午前八時半から緑したたる小名浜一中校庭に第八方部五中學校参加の上盛大に開催することになつた

先ず大会は当日午前八時三十分集合整列、つづいて國旗掲揚、開會の辭、優勝杯返還、來賓祝辭、審判上の注意などがあつて本社長瀬社長の始球に始まり午前九時試合開始!!各校競つて一大熱戦が展開される

参加校は泉、小名浜第一、全第二、江名、鹿島の五中學で七回戦を行う

組合せは八日午後一時より小名濱一中に於て参加校体育担任の参集をもとめ抽せんを行つた結果次のような好対抗組合せが決定した

①泉中――小名浜二中、②鹿島中――江名中、③①の勝利者と小名浜一中が決勝……この大会の見ものとして満場溢れる觀衆が予想される中にアッと云う飛出しものがないとも限らず、本社優勝杯は何づれの中学校に……で早くも下馬評が下されているが本社の得た勝敗予想は次の通り

はじめに泉中と小名二中の對戦であるが去る四日行われた第二區中体連綜合大会に强剛磐崎を相手に小名二中は4〜0で敗れ、泉中は6〜3で惜敗したチームだけに或は引分の好試合になるものと予想されるが泉中やゝ劣るの感がある、五分五分と思われる小名濱二中の投手が崩れれば外野守備は振わないと見て或は泉中に凱歌擧るやに見える

次に鹿島中—江名中の對戦であるが、これも悲喜こもごもの大接戦が演じられるものと見て面白い江名中の「頑張れ!!エナチュウ」の應援もまた見逃せずグングン球嵐を浴びせてくるかも知れずいまの予想は白黒つかずカチに乗ずれば江名は剛快であるだけに鹿島を制するかも知れない

次いで幸運の不戦勝組の小名浜一中は先きの第二区大会で全優勝をしておりその名技振りを示しているので泉對小名二の勝利組と對戦にはワケなく快勝することとは言を俟たないと想われるが、失点をも辭せず決勝に入つては、何づれか玉砕的攻撃を講じなければ小名浜一中を幾すことは出来得ないであろう

なお球審は野家貞夫氏(前本社囑託=近く小名浜唯一のスポーツ専門店を開く由)雨天の際は十九日(第三日曜)

各種印刷の御注文は長瀬

III小名浜の野菜全滅かIII
冠水田は百五十余町歩

連日の雨に低濕地である小名濱地方は相当の増水が恐れられていたが八日から九日の朝にかけて降つた六十一ミリ(小名浜測候所調八日午前九時〜九時午前九時)に達する豪雨に小名浜町、島、住吉、大原、南富岡部落の水田は百五十町歩が冠水して終つた、最も冠水のひどいのは矢田川と藤原川の合流地点にある住吉大原地内で懸命の排水作業を行つているが、排水路の不完全から水が逆流しており、排水は困難で自然に水の引くのを待つより他に方法はない模様である

殊に小名浜の野菜の大半を生産している南富岡、二ッ橋下の畑地二十五町歩は完全に冠水して全滅が恐れられている、これが全滅すると夏の味覺西瓜、瓜などは相当の高値も予想され、と同時に野菜などの値上りも考えられる

憂慮される事は水の引いた後の炎暑にイモチなど病稻の發生で、その予防に必死である

〝お客さまには親切に〟
小名濱で觀光注意発表

小名浜町では本格的な夏を目前に海水浴客など多數の遊客の來町が予想されれ町もまたこの外客誘致宣傳に大童であるが、外容誘致の第一條件は町民の親切さによる第一印象の良い事であると次の樣な事柄の勵行留意を町民に呼びかけている

一、外來客には出來るだけ親切に週する事

二、品物や飲食物を法外な高い値段で賣りつける樣な事は嚴に愼む事

三、食料品店、食堂は特に衛生に注意する

四、自宅のまわりは毎日掃除をする事

五、ゴミ、ガラス、紙屑などを道路、空地、海岸等に捨てない事

小名浜町で義捐金募集

六十年來の大水害と稱される西日本 北九州地方の水害は意外の慘状を呈しているが、小名浜町に於ても國民同胞愛の精神のもとにこの窮状を速やかに救護したいと一人一円以上の義捐金醵出を廣く町民に呼びかけて義捐物品などと共に十三日迄にこれをまとめ即刻罹災地方に急送することになつた

なおこの義捐金品は厚生課で受けつけている

納涼音樂會
小名二小で

小名濱二小では納涼音樂會を十八日午前九時より全十一時半まで講堂に開く

この音樂會には合唱、齊唱、輪唱、獨唱及び器樂、舞踊、獨奏など各學級より一種目から二種目で全學級出演して夏の憩いのひとときを樂しく過そうと一般父兄たちの來場を歡迎している

床屋さんら鏡会を結成

植田地區理髪美容組合ではこのほど植田地区鏡会を結成、來る十三日(月曜日)午前十時より植田町保健所会議室に研究会(第一回)をひらき技術の向上とサービスの改善について協議する

椎名氏勿來中に赴任
雨中に盛大なる歡送

先月突然他界した勿來町中学校長小松正躬氏の後任校長の人選問題については縣教育委員会を初め地元教育委員会同關係者などで强力に協議を進めていたがこの程入遠野小学校長椎名辰雄氏が決定八日着任した

椎名校長は二十五年四月入遠野小学校に着任して以來今日まで三年三ケ月同村大平分校の新築を初め小学校、中學校にピアノを購入(PTAの努力も實に大きい)新設、また公明選挙の推進に婦人會、青年会、など各文化團体の發展にまた地域社会に全力を盡したもので その功績は実に大なるものがある、入遠野村では八日飯塚PTA会長〟婦人会長等教育關係者約三十余名が別れを惜しんで小雨降る中を勿來中学校まで送つた、またこの日勿來町では青天目町長、町内教育關係有志や職員が勿來中學校に集り盛大な歡迎會を開き、錄音機に吹込んだ

ローマ字の研究授業
小名浜一小

小名浜一小の研究授業は去る八日午前十一時十分から一時間、四年二組(擔任黒木孝明氏)に行われた

この学習指導は國語の一つとしての「ローマ字」で正しく讀むことが出來るようにする、正しく書くことの出來るようにする等である

管野氏入遠野小校長に榮轉

勿來町第一小學校教務主任管野修一氏は八日勿來中学校長として着任した入遠野小学校長椎名辰雄氏の後任として赴任した

上映中 =10日マデ= 風雲兒 大菩薩峠 金美館

常磐名産 みりん干

内科 小兒科 レントゲン科 小名浜町花畑三七 賀澤醫院 院長 賀澤貞雄 電話二九三番

季節の食物 ☆冷むぎ初めました ざるそば・冷そば・茶そば もりそば・丼類一式 ☆福島屋の味覺を是非〟 →出前迅速← 福島屋 小名浜町下横町電123

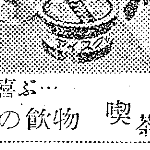
初夏の味覺 ▼うなぎ蒲燒 特製ランチ 御重辨当 ▼生ビール…… ▼うなぎ大量入荷年中あり 壽司の金時 小名浜駅前電一二八

長山電機商会 小名浜町本町五八 電一六五

毎度有難う御座います 百円以上御買上げ毎に全商品の割引券を差上げます 夏ノ季節に備へてきつと皆様の御氣持にぴつたりと合ふ新型 殺虫電球セクトン(特價二八〇円)が皆様を御待ち致します

夏の味覺 生ビール 東京(工場)直送樽詰 何卒御試飲の程を伏して御願い申上げます

中華料理 永華 小名浜町上町 電話四八三番


雪印ビタミン入アイスクリーム 客が喜ぶ… 夏の飲物 御注文は電177番へ 喫茶 國華堂賣店

平マーケット サービス券 50圓 (本券切り抜きいつでも御利用下さい) 現金3[illegible]圓以上御買上に50圓として通用 皆様の店 平マーケット 電297

◇お知らせ◇

營業科目 土木建築工事の請負 住宅の建築賣買 土地建物賣買仲介 貸家借家ノ斡旋 月賦拂の住宅

◇目下土地分譲地有り!

小名浜町上町料理屋向き 附建(電話付)貸家有 施設完備來社面談の上

第二中学校前……六〇〇坪
中島地区……一五〇〇坪
林の上地区……一、〇〇〇坪

御希望に應じ区分して分譲します

小名浜町下明神町 磐城土地建物株式会社

小型自動車運転免許受験者講習会開催について

一、期日 七月十五・十六・十七日(三日間)

イ、七月十五日午前九時より正午迄學科講習 警察署に於て 午後一時より四時まで臨港鐵道前廣場に於て實科講習 十六、十七日兩日九時より四時まで実科講習

ロ、受講者受附場所 小名浜地区警察署。自家用自動車組合。港タクシーに於て七月十三日まで受附ます

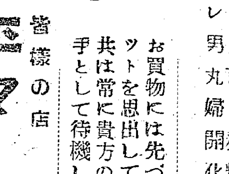
ハ、受講料(三日間)壹百圓也

ニ、貸車關係 三輪車は必要に應じ貸与致しますが有料です

主催 小名浜自動車運轉者会
後援 小名浜地區警察署
〃 小名浜自家用自動車組合

經費をかけずに良い品安く

ゆかたとかやの季節
かや、太綿、片麻、本麻
東京本染ゆかた各銘柄品
パラソルと洋傘学童用傘
レインコート絹ビニール
男女雨靴運動靴サンダル
丸首メリヤス女性着各種
婦人帽パナマ帽ミルキー
開衿シャツ替ズボン特價
化粧品御屋メヌマ ジユジユペピリオ 80円
野球卓球庭球用品各種
海水着海水パンツ海水帽
菓子切手葉書印紙たばこ



お買物には先づ平マーケットを思出して下さい私共は常に貴方の御相談相手として待機しています

皆様の店 平マーケット 小名浜第二小学校前 電二九七 チケット歓迎